



消費者の部屋通信

(平成29年12月号)

目次	☆ 展示の御紹介	1
	☆ 学校関係の訪問状況	4
	☆ 子ども相談・相談事例(11月分)	6
	☆ 地方の「消費者の部屋」だより	8

農林水産省「消費者の部屋」特別展示

さつまいも・じゃがいもの週

～ いもの魅力、再発見! ～

「さつまいも・じゃがいも」は、家庭で調理する生食用や、加工食品用、でん粉用など用途に合わせた、たくさんの品種が開発されており、私たちの身近な食品に広く利用されています。

また、日本のさつまいもは甘みが強いことから、東アジアや東南アジアを中心に海外でも人気が高まっているなど、いまだ注目の食材です。

この機会に「さつまいも・じゃがいも」の魅力を再発見してみませんか?

◇生食用さつまいも 「へにはるが」	◇でん粉用さつまいも 「こなみずき」	◇生食・加工用じゃがいも 「ながさき黄金」	◇加工用じゃがいも 「はるが」
----------------------	-----------------------	--------------------------	--------------------

<特別展示> さつまいも・じゃがいもの週
(10月30日～11月2日開催)



<特別展示> 「和の空間」でおもてなし
(11月13日～11月17日開催)

農林水産省「消費者の部屋」特別展示

国有林野で遊び、学ぼう!

日本美しい森が育む国有林野って?

レジャーエーションの森、スキー場の紹介

森林資源の大切さ、自然の恵み、環境の大切さなどを学ぶことができます。

<特別展示> 国有林野で遊び、学ぼう!
(11月6日～11月10日開催)

農林水産省「消費者の部屋」特別展示

太陽と大地の恵み 砂糖

～日本の砂糖の安定供給を支える仕組み～

展示内容

- 日本の砂糖色変える仕組み
- 砂糖の歴史知識
- 様々な砂糖の紹介など

☆わら糖作り体験
毎日12:00～13:00

☆スライディングジャー、米砂糖プレゼント!
数量に限りがあります。

展示期間 2017年11月20日(月)～24日(金)
10:00～17:00 (20日・24日は10:00～12:00)

会場 農林水産省北館1階「消費者の部屋」

入場無料

農林水産省北館1階「消費者の部屋」

農林水産省北館1階「消費者の部屋」

<特別展示> 太陽と大地の恵み 砂糖
(11月20日～11月24日開催)

- ◆ 「消費者の部屋」では、消費者の皆さまとコミュニケーションを深めるために、農林水産行政や食生活などについての情報提供などを行っています。また、農林水産省の本省北別館1階で行われる特別展示には、多くの方々に御来場いただいております。

☆ 特別展示の御紹介

●平成29年11月の開催状況

期 間	展 示 名	入場者数
10月30日～11月2日	【特別】 さつまいも・じゃがいもの週	848人
11月6日～11月10日	【特別】 国有林野で遊び、学ぼう！	703人
11月13日～11月17日	【特別】 「和の空間」でおもてなし	759人
11月20日～11月24日	【特別】 太陽と大地の恵み 砂糖	834人

●平成29年12月の特別展示

期 間	展 示 名
11月27日～12月1日	【特別】 環境にやさしい農業の魅力
12月4日～12月8日	【特別】 福島森からイイモノ、お届け
12月11日～12月15日	【特別】 木とストーブのある暮らし展
12月18日～12月22日	【特別】 遺伝子組換えカイコによる蚕業革命

◆ テーマ【特別展示】 さつまいも・じゃがいもの週 ◆

「さつまいも・じゃがいも」は、生食用のほか加工食品やデンプン等の様々な食品に加工され、私達の身近な食品に広く利用されています。

また、近年は、それぞれの用途にあった新しい品種が多く開発されており、東アジアや東南アジアを中心に海外でも日本のさつまいもの人気が高まっているなど、いま注目の食材です。

来場者は珍しい色のさつまいもやじゃがいもを見ながらパネルやパンフレット等に目を通していました。さつまいもデンプンを使用したソーセージやカステラの試食に大勢の人が列を作っていました。



ムラサキ色、オレンジ色、白色等様々な色や特性を持ったさつまいもを展示しました。



赤いじゃがいもを使用したポテトチップスや様々な品種のさつまいもを使用した干し芋等多数展示しました。



さつまいも、じゃがいもの菓子類や干し芋を販売しました。
焼き芋は大人気で連日短時間で売り切れていました。



試食で提供したカステラと干し芋。
試食コーナーは大勢の人で賑わいました。

◆ テーマ【特別展示】国有林野で遊び、学ぼう！

～スキー場や森林環境教育などの紹介～◆

森林環境教育の取組など国有林野を利用した様々な取組を紹介するほか、全国各地にある「レクリエーションの森」におけるスキーをはじめとした森林レクリエーションについて紹介しました。

森林環境教育の参考になる松ぼっくりや木の実のリースを展示しました。



森林環境教育について学ぶ中学生たち。



木材を利用して作成したかわいらしいキーホルダー。



松ぼっくりを水に濡らすと蓋が閉じる理由について実演を交えて説明しました。



手触りや重さが違う21種類の樹木で作ったこけし。

◆ テーマ【特別展示】「和の空間」でおもてなし

～伝統ある和の文化 お茶、畳、和装の紹介～ ◆

我が国の伝統である和の文化であるお茶、畳、和装の原料についてわかりやすく紹介しました。日替わりで組紐の実演やお茶のセミナーを実施し、変化のある展示となりました。



和の空間に合わせ、和装で来場者をおもてなしする職員



絹を使った組紐作りを見学する小学生たち



お茶のセミナーでは、産地や製法の違うお茶の飲み比べを実施しました。



光るシルクの説明を熱心に聞く野中政務官

◆ テーマ【特別展示】太陽と大地の恵み 砂糖

～日本の砂糖の安定供給を支える仕組み～ ◆

いろいろな形で摂取している砂糖の安定供給を支える仕組みについてパネルでわかりやすく紹介しました。珍しい砂糖の展示やわた菓子作り体験を実施しました。



国内で販売している様々な砂糖を展示しました。来場者の多くは原料の甜菜（ビート）に興味津々でした。



わた菓子作り体験は連日大勢の人で賑わいました。皆さん苦戦しながらも笑顔でした。

☆ 学校関係の訪問状況

「消費者の部屋」では、小・中・高校生での修学旅行や校外学習で班別行動をされる児童・生徒の皆さんに向けて、農林水産省の訪問を受け付けております。

また、農林水産省に関する、様々な質問にも、わかりやすく説明しています。

多くの児童・生徒の皆さんの訪問をお待ちしております。

平成29年11月の来訪者は以下の通りです。

■ 平成29年11月の訪問	来訪者数
長野県長野日本大学中学校（中3年）	23名
茨城県鹿嶋市立鹿島中学校（中2年）	19名
合 計 2校	42名

お申し込みについて

訪問を希望される場合は、事前にお申し込みが必要です。

担任の先生より、「消費者の部屋」ホームページ内に掲載されている、申し込み用紙に必要事項を記入の上、FAX（03-5512-7651）にてご連絡下さい

※訪問について基本情報

・実施時間：火・水・木の平日1日2回（10:30～、13:30～）

（上記以外でも、ご相談下さい。ただし、都合により実施できない場合もあります。）

特別展示の案内、説明・質疑等・・・30分、庁舎案内・・・40分

・所要時間：1時間10分程度 ・受入人数：訪問は20名程度（要相談）までとします。

訪問の様子



「消費者の部屋」展示室において、記念撮影をする長野県長野日本大学中学校の生徒達。



「消費者の部屋」事務室において、説明を受ける、茨城県鹿嶋市立鹿島中学校の生徒達。



「消費者の部屋」事務室において、説明を受ける、神奈川県川崎市立大戸小学校の生徒達。



記者会見室見学において、説明を受ける、茨城県鹿嶋市立鹿島中学校の生徒達。



農林水産省図書館において、取り扱い書籍等の説明を受ける、山形県鶴岡市立鶴岡第三中学校の生徒達。



記者会見室見学において、説明を受ける、福島県須賀川市立第二中学校の生徒達。

訪問された生徒さんの感想（抜粋）

☆農林水産省の説明を聞いて、農林水産業への関心が深まりました。就職の選択肢の一つとして、農林水産省を入れたいと思います。（高校2年女子）

☆農林水産省は、たくさんのプロジェクトを行い、人や地域の活性化に繋がる大切な機関だと分かりました。また、私たちの生活に深く関わっていることも学びました。教わったことを、たくさんの人に伝えていきたいと思います。（中学3年女子）

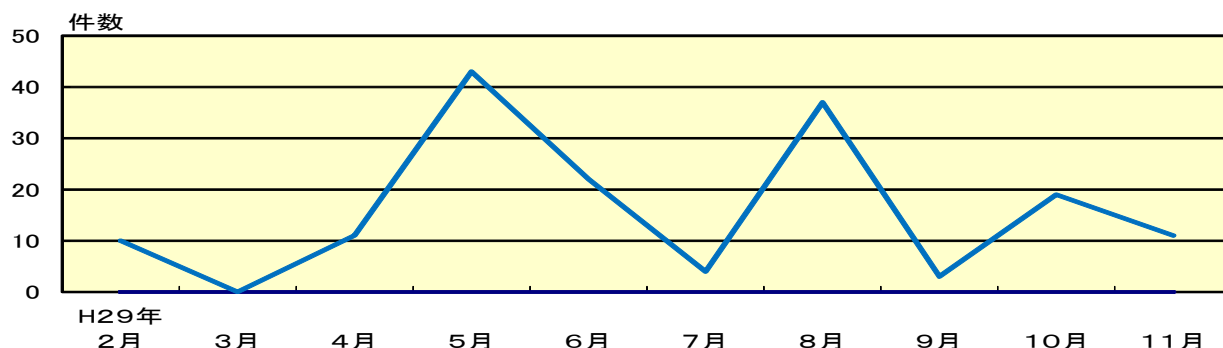
☆印象に残っているのは、特別展示を通じて「世界農業遺産」について知ることが出来たことです。初めて聞いた言葉でした。伝統的な農林水産業とそれに関わって育まれた文化を保護するシステムと知り、すごく大切だと思いました。これからは、日本や世界の農林水産業や文化にもっと目を向けていきたいです。（中学3年女子）

～ 修学旅行や社会科見学などの訪問をお待ちしています ～

☆ 子ども相談

子ども相談専用電話を設け、農林水産業や食品に関する子どもからの相談や質問にお答えしています。11月の子ども相談件数は、前月より8件減少し、11件となりました。

子ども相談件数の推移



☆ 相談事例（11月分）

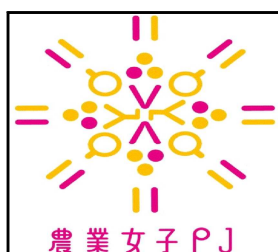
Q：「農業女子プロジェクト」という取り組みがあることを知りました。どのような活動を行っているのでしょうか。

A：「農業女子プロジェクト」は、女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵と民間企業の技術・ノウハウ・アイデアを結びつけ、新たな商品やサービス、情報等を開発し、社会に広く発信していくためのプロジェクトです。

このプロジェクトは平成25年11月に開始し、今年の11月で4年が経過しました。発足時には37名だった農業女子メンバーは、現在639名に拡大しています。また、参加企業や教育機関も9社から30社と3校と拡大しています。

プロジェクトでは、下記のとおり、主に3点について推進しています。

1. 社会、農業界での女性農業者の存在感を高める
2. 女性農業者自らの意識の改革、経営力の発展を促す
3. 若い女性の農業の選択肢に「農業」を加える



「農業女子プロジェクト」ロゴマーク

農業女子たちが、日々向き合っている畑や田んぼ、果樹園などの地図記号を用いてそこで働く彼女達のきらきら輝く太陽のようなエネルギー、女性独自の視点で新しい価値を生み出していくエネルギーをイメージしています。

具体的な活動としては、女性用のトラクターの開発を始め、独自の商品やサービスが生まれるなど、着実に進展しています。また、最近では各地の農業女子メンバーが連携して、香港で販売活動の実施も始めています。

現在、各地域における活動のさらなる推進やSNS等による情報発信を積極的に実施し、本プロジェクトの認知度向上にむけて活動予定です。是非、皆さまも今後のプロジェクトの活動にご注目ください。

＊「農業女子プロジェクト」の活動についての詳細は、下記の農林水産省及び公式HPにおいて、ご案内しています。↓

<http://www.maff.go.jp/j/keiei/nougyoujoshi/>

<https://nougyoujoshi.maff.go.jp/>

☆ 相談事例（11月分）

Q：キノコ狩りに行く予定ですが、キノコによる食中毒が心配です。食中毒を起こすキノコの種類と症状を教えてください。また、最近、スキヒラタケを食べないように注意がありました。年配者からは昔は食べていたから大丈夫といわれましたが、どう考えればよいのでしょうか。

A：日本には200種類以上の毒キノコがあると考えられていますが、実際に食中毒の被害を引き起こす毒キノコは、毎年ほぼ10種類以内といわれています。特に多いのが「ツキヨタケ」「クサウラベニタケ」及び「カキシメジ」の3種類で、これらはいずれも消化器系障害型の中毒（嘔吐、下痢、腹痛など）の症状を起こします。また、死亡事故の多くはドクツルタケやタマゴタケモドキのテングタケ類によって発生しています。

毒キノコによる中毒の症状は、種類によって異なるため、食中毒事故を防ぐには、まず、中毒件数の多い種類、及び命に関わるような危険な種類を優先的に覚えることが大切です。下記の注意点を参考にして下さい。

【毒キノコの注意点】

1. 知らないキノコは採らない、絶対に食べない。
2. キノコの特徴を覚える。
3. 専門家のアドバイスを受ける。
4. 「絵が縦に裂けるキノコは食べられる」等の誤った言い伝えや迷信を信じない。

なお、スキヒラタケは食用のキノコとして知られていましたが、平成16年腎機能障害を持つ人が食べると急性脳症が発生し、死に至ることがあると判明しました。その後、腎機能に異常のない人でもスキヒラタケによる中毒事例が発生したことから、食べないようにという注意喚起が出されました。

もし、ご年配の方などから、「スキヒラタケは昔から食べていたので大丈夫だ」言われても食べないようにして下さい。

是非、これらの注意点を守って、実りの秋を満喫しましょう。



ツキヨタケ



クサウラベニタニ



カキシメジ



スキヒラタケ

* 毒キノコ及びスキヒラタケについての詳細は、下記の農林水産省HPにおいて、ご案内しています。↓

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/kinoko/pdf/doku.pdf>

[http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/rinsanbutsu/sugihira take.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/rinsanbutsu/sugihira_take.html)

☆地方の「消費者の部屋」だより

東北農政局 消費者コーナー

東北農政局は、JR仙台駅から北西へ徒歩15分、地下鉄勾当台公園駅から徒歩5分の仙台合同庁舎A棟にあります。「消費者コーナー」は隣のB棟1階ロビーの行政プラザ内に設置しています。

【消費者コーナー】

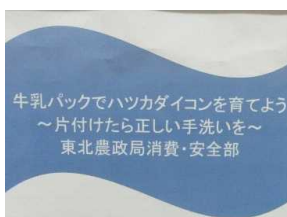
農林水産行政の推進や消費者の方々とのコミュニケーションを図るため、年間計画に基づき展示を行っています。本年度はサイネージを設置し動画による情報提供も可能になりました。農政局各部で取組んでいる業務や震災復興の状況、管内自治体の六次化産品等を紹介し展示を行っています。

「和食」をテーマにした展示



【移動消費者の部屋】

8月8日に行われた東北農政局子ども夏休み見学デーでは、農作物に親しんでもらうため、牛乳パックにハツカダイコンの種を自分でまいて持ち帰ってもらいました。作業の後は「正しい手の洗い方」を実践しました。



大きくな～れ！

教わった手洗い方法で しっかり洗います



また、管内のイベントに参加し、移動消費者相談窓口を設置するとともに、食の安全に関してチラシの配布や本省ホームページの動画を上映して情報提供を行っています。



東北農政局 消費・安全部 消費生活課

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1

TEL : 022-263-1111 FAX : 022-217-8432

☆「消費者の部屋」一口メモ

【砂糖の基礎知識】

3 ページでもご紹介しましたが、11月20日～24日に特別展示にて、「太陽と大地の恵み砂糖～日本の砂糖の安定供給を支える仕組み～」を開催しました。

展示では、日本の砂糖を支える仕組みとして、国内の精製糖企業等が輸入する原料糖等から調整金を徴収し、これを主な財源として、国内のさとうきび・てん菜生産者と、甘しや糖・てん菜糖製造事業者を支援していることや、砂糖の種類・特性等がわかります。



砂糖の歴史や、特性・種類・砂糖を使用したレシピを紹介

その中で、「砂糖の基礎知識」について、参考としてQA式でご紹介します。

Q-1 砂糖を食べると太る？

A-1 砂糖は、米やパスタと同じ炭水化物食品です。カロリーはいずれも、1g＝約4キロカロリーです。太るかどうかは摂取カロリーと消費カロリーのどちらが多いかで決まります。砂糖に限らず、エネルギー源になるものを必要以上にとり続ければ、余った分が脂肪となって体内に蓄積される原因となるのです。

Q-2 砂糖は脳のエネルギー源？

A-2 脳は人が1日に摂取する全エネルギーの約24%も消費する大食らいの臓器です。でも、脳のエネルギーになるのは通常ブドウ糖だけですので、体内ですぐにブドウ糖に分解される砂糖は、脳のエネルギー補給に最適です。

Q-3 砂糖が白いのはなぜ？

A-3 砂糖は無色透明の結晶です。白く見えるのは雪の結晶と同じで、光の乱反射によるものです。漂白したからではありません。

☆ 消費者の部屋ホームページをご覧ください！

消費者の部屋のホームページ（<http://www.maff.go.jp/j/heya/sodan/index.html>）から、さまざまな情報がご覧いただけます。ぜひアクセスしてみてください。

農林水産省「消費者の部屋」へお越しの際は、北別館入口から入館していただくと、通行証無しで入室できます。皆様のお越しをお待ちしています。



東京メトロ「霞ヶ関」駅下車。A5、B3a出口すぐ。

平成29年12発行

編集・発行 農林水産省 消費・安全局
消費者行政・食育課「消費者の部屋」
担当：渡辺、吉武、明戸、守屋

相談電話 03-3591-6529

ファックス 03-5512-7651

子供相談電話 03-5512-1115

インターネット相談窓口：

<http://www.maff.go.jp/j/heya/sodan/index.html>